

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月25日

計画の名称	大槌町の暮らしを支える社会資本の整備（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大槌町											
計画の目標	落石・崩壊及び幅員狭小箇所など、通行上危険な箇所の対策を実施し、快適で安全に暮らせる道路整備を行う。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	131	A	131	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	通行上危険な箇所の対策済率（整備率）の向上。 危険箇所（要対策箇所）の対策済率。町職員の調査により危険箇所を算出。 通行上危険な箇所の対策済率 = 整備（対策）済箇所数 / 総危険箇所（要対策箇所）数	0%	25%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	大槌町	直接	大槌町	市町村道	修繕	(2)桜木町幹線ほか	側溝改修 L=600m	大槌町						42	-		
	A01-002	道路	一般	大槌町	直接	大槌町	市町村道	修繕	(1)小錠線ほか	法面補修 L=500m	大槌町							82	-	
	A01-003	道路	一般	大槌町	直接	大槌町	市町村道	修繕	(1)大ヶ口線ほか	道路標識・照明修繕 30基	大槌町							7	-	
	A01-004	道路	一般	大槌町	直接	大槌町	市町村道	修繕	(1)小錠線ほか	舗装修繕 L=3,000m	大槌町							0	-	
											小計							131		
											合計							131		

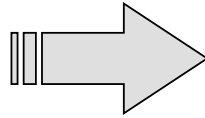
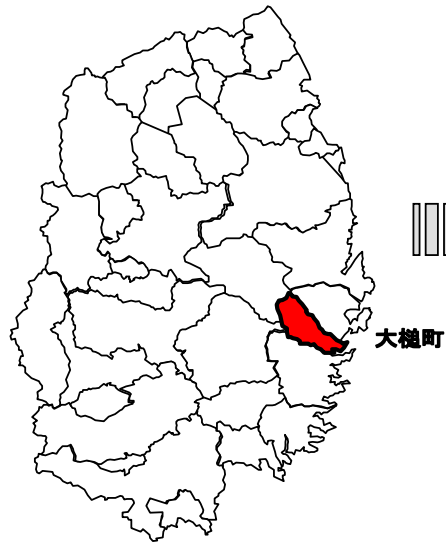
事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 課内組織にて事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和2年5月
	公表の方法 大槌町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業実施により排水不良箇所の改善や落石等の発生が抑制され、危険箇所の減少を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
復旧・復興整備による道路ストックの増加と、震災復興に伴う生活環境の変化を複合的に考え、適切な維持管理の推進を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	50%	通行上危険な箇所の対策済率 = 整備（対策）済箇所数 / 総危険（要対策）箇所数 予算状況により、優先順位の高い箇所を抽出・施行したことから、当初計画進度よりも遅れが生じたもの。
	最終実績値	33%	

(参考図面)

計画の名称	3-5 大槌町の暮らしを支える社会資本の整備 (防災・安全)	交付対象	大槌町
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)		



【凡例】

《交付団体:市町村》

■ 地方道路整備事業(A)

《事業識別》

改築系

補修系

○ 効果促進事業(C)

《事業識別》

計画・調査